

# 『第11次北海道職業能力開発計画』概要

## 第1部 総説

1 計画のねらい 本道の職業能力開発の基本的施策の方向性を示す

2 計画の期間 令和3年度から令和7年度までの5年間

## 第2部 職業能力開発を取り巻く現状

### ◆現状

- ・生産年齢・労働力人口が減少、全国を上回るペースで高齢化が進行 等
- ・新型コロナウイルス感染症の流行長期化による経済への影響、全国と比べ、二次産業の構成比率が低い 等
- ・福祉や医療、建設業など一部業種では有効求人倍率が高い、就業率は総じて全国より低く、特に女性 20～34 歳、高齢者の格差が大きい 等

### ◆主な課題

- ・労働者一人ひとりの生産性を高め、多様な人材の活躍を促進
- ・労働者自らが時代のニーズに即したキャリア形成を図り、次代の地域経済を担う人材の育成支援
- ・技能労働者の育成を進め、産業発展の基礎となる優れた技能を維持、継承

## 第3部 職業能力開発の方向性と基本的施策

5年後の目指す姿

- ◎ 地域を支える産業において、「新たな日常」の中、労働環境や社会ニーズの変化に対応した多くの優れた産業人材が活躍している。
- ◎ 経済・雇用情勢等の変動に伴い、多様な働き手がそれぞれのニーズに応じた働き方を選択し、活躍している。

実施目標

新たな日常や地域・産業の課題、ニーズを踏まえた人材育成・確保の推進

多様な働き手が活躍する全員参加型社会の実現に向けたきめ細かい職業能力開発の推進

時代のニーズに即した労働者のキャリア形成の推進

現場を支える熟練技能の継承や技能の振興・普及促進

指標

高等技術専門学院(施設内訓練)修了生の関連業界就職率(R7:95%)

公共職業訓練(委託訓練)の受講者における就職率(R7:77%)

能力開発セミナー(在職者向け研修会)受講者の満足度(R7:97%)

道が実施する技能検定の合格者数(R7:4000名)

1 新たな日常や地域・産業の課題、ニーズを踏まえた人材育成・確保の推進

- ・新しい働き方やデジタル化など社会経済の変化に対応できる人材の育成
- (1)本道に強みのある分野における人材育成の推進
- (2)高度技術者等の誘致による職業能力底上げの促進
- (3)地域の担い手となる人材育成・確保の推進
- (4)労働生産性の向上に向けたデジタル化への対応をはじめとする職業訓練等の推進

2 多様な働き手が活躍する全員参加型社会の実現に向けたきめ細かい職業能力開発の推進

- ・高齢者や女性、障がい者等への職業訓練の実施
- (1)女性の活躍推進に向けた職業能力開発
- (2)若年者(ニート、離職防止含む)に対する職業能力開発
- (3)中高年齢者・高齢者に対する職業能力開発
- (4)障がい者に対する職業能力開発
- (5)非正規雇用労働者に対する職業能力開発
- (6)季節労働者に対する職業能力開発
- (7)雇用情勢に対応した職業能力開発

3 時代のニーズに即した労働者のキャリア形成の推進

- (1)在学中におけるキャリア教育の推進
- (2)労働者の自律的・主体的なキャリア形成の支援
- (3)企業などにおける人材育成の強化

4 現場を支える熟練技能の継承や技能の振興・普及促進

- ・ものづくり体験等を通じ、次代を担う若者へ優れた技能の理解を促進
- (1)技能尊重機運の醸成
- (2)未来を担う技能者の育成と技能の継承

## 第4部 計画の推進

1 計画の推進体制 ・適切な役割分担のもと取組を実施

2 関係機関等との連携 ・連携による効果的・効率的な取組の推進

3 計画推進の考え方 ・雇用環境や労働需給に鑑みて、短期的・中長期的に施策を展開

4 計画の推進管理 ・施策の実績把握や事業の点検評価